

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う首都圏の企業の地方への誘致に係る予算流用について

1 目的

新型コロナ禍のオフィスに対する考え方が、“首都圏等から地方へ”と変化を見せ始めている流れを取り込み、本市へのベンチャー企業誘致を加速するためには本活動の早期着手が必要であり、予算流用を求めるもの。

2 背景

首都圏等では新型コロナ禍のオフィスに対する考え方について、「出勤してからオフィスで働く」から「リモートワーク」へ、あるいは「高い家賃の首都圏のオフィス」から「家賃が安く仕事環境が整備された地方のオフィス」へと変化が生じている。合わせて、若者の中でも、地方の豊かな住環境を求める方が増えている。

現在を、企業の首都圏から地方への流れを取り込む絶好の機会と捉え、浜松への誘致に繋げる必要がある。

3 事業内容

- ①Web ベンチャーイベント事業（本市のベンチャー支援策 PR イベントのオンライン開催）
- ②ベンチャー企業等誘致プロモーション事業（浜松をブランディングする動画の作成・配信等）
- ③天竜トライアルオフィスお試しツアー事業（浜松でのワーケーション体験と情報発信）

4 予算流用額 21,000 千円

款 商工費 項 商工費

(単位：千円)

	事業	目	節	金額
流用元	企業立地促進助成事業 (補助金)	企業立地推進費	負担金補助及び 交付金	△ 21,000
流用先	ベンチャー支援事業	産業振興費	委託料	① 3,000
	サテライト オフィス誘致事業	産業振興費	委託料	② 17,000 ③ 1,000

5 流用について

No.①～③の事業については、流用した金額は9月議会にて補正予算を提出し、議決後に流用額を戻す予定。